

⑥ 食物アレルギー・エピペンの使い方について

食物アレルギー発症時の対応

児童が、アレルギー症状（疑い）を発症した場合、1～3をもとに対応する。

1 共通理解したいこと

- (1) 症状のチェックは、「青レベル」「黄レベル」「赤レベル」の3段階で見極める
「赤レベル」迷わず救急車を要請する
「黄レベル」救急車要請も考慮し速やかに医療機関を受診する
- (2) 誰がリーダーになるかを早く決定する。

◎→現場からと職員室からの重複指示となる場合あり
★→状況に応じて、現場または職員室から連絡

現場リーダーが行うこと

- ① 患者の観察者を指示
- ② 職員室等への連絡を指示
 - ・発生状況の報告・傷病者の学年、組、氏名、症状、レベル(掲示ホルダーの「対応の実際」
または、様式7記録票5「症状チェック」参照)
 - ・個別対応マニュアル
 - ・内服薬、エピペンを持ってくるよう依頼
 - ★救急車要請(赤、黄レベル)
 - ★タクシー移送(青レベル)
 - ★家庭連絡
 - ◎養護教諭への連絡
 - ◎担架
 - ◎AED
- ③ 記録者の指名指示 (記録用紙は、各教室の掲示ホルダーにある)
- ④ 児童管理誘導の指示
- ⑤ 担架での移送指示

職員室で行うこと

- ・管理職への報告、連絡
- ・校内放送で応援職員を呼ぶ
- ・個別対応マニュアル(保健関係文書ロッカー)
- ・エピペン(前方机下棚)を現場へ持っていく
- ◎養護教諭への連絡
- ★救急車要請・救急車誘導・案内
- ★家庭連絡

2 症状レベルに応じた対応の実際

